

日本大気電気学会第104回研究発表会 プログラム



日程: 2026年 1月8日 (木), 9日(金)
会場: 電気通信大学 創立80周年記念会館 3階会議室
〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1丁目5-1
連絡先: 菊池 博史(電気通信大)
Tel: 042-443-5755, E-mail: hkikuchi@uec.ac.jp

日 程 表

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1月8日 (木)	地震・ エアロ ゾル・ 気象	雷I	昼食	ショートブ レゼンテー ション	ポスター 1・2		特別 講演	総会	懇親会		
1月9日 (金)	雷II	雷III	昼食	ショートブ レゼンテー ション	ポスター 3・4						

注: 発表者は○印で示され、学生(学部生、大学院生)の時には下線が付してあります。

第1日 1月8日(木)

口頭セッション S1 地震・エアロゾル・気象

09:50-10:50

会場：創立80周年記念会館 3階会議室

座長：菊池博史（電通大）

S1-1 ○日向秀明, 早川正士 (QIT)

地震前兆現象と気象パラメータを用いた異常検知手法の検討 —— 考察 —

S1-2 ○森樹大, Muhammad Aiman bin Mohd Nor, 渡邊和憲, 奥田知明 (慶應大), 岩田歩 (気象研)

電荷数ごとの粒子数濃度を高時間分解能で計測する手法の確立

S1-3 ○岩下久人 (明星電気), 小林文明 (防大地球), 諸富和臣, 嶋村重治 (日本無線), 樋口篤志, 大矢浩代, 鷹野敏明, 高村民雄 (千葉大)

POTEKA 地上気象観測による 2025 年の突風観測結果報告

休憩

10:50-11:05

口頭セッション S2 雷 I

11:05-12:05

座長：王道洪（岐阜大）

S2-1 ○S. Sasmal (Inst. of Astronomy Space and Earth Sci., India), A. Maurya (Babasaheb Bhimrao Ambedkar University, India), Y. Hobara (電通大), and M. Hayakawa (早川地震電磁気研究所, QuakeInsight Tokyo)

Multi-Scale Coupling between Lightning Activity, Radiation Belt Electron Precipitation, and GPPS-TEC Disturbances in the Near-Earth Environment

S2-2 ○大林和輝, 柳川俊一 (昭電), 道本光一郎 (早川地震電磁気研究所)

針端コロナ電流計測手法を用いた多地点静電界測定の検討

S2-3 ○櫻井南海子, 清水慎吾, 前坂剛 (防災科研)

関東で観測された青天の霹靂と雷雲の特徴

昼食

12:05-13:10

ショートプレゼンテーション P1 & P2 (*)

13:10-14:30

(*) 発表時間は別紙をご参照下さい

休憩

14:30-14:50

ポスターセッション P1

14:50-15:50

会場：UEC Ambient Intelligence Agora（電気通信大学附属図書館内）

座長：吉田 智（気象庁）

- P1-1 ○笛沼千夏(M1)，宋銳，吉野千恵，服部克巳（千葉大），劉正彥（台湾国立中央大）
電離圏電子数変動を用いた短期地震予測に関する研究-地磁気嵐の影響の除去について-
- P1-2 ○名嶋純平(B4)，野田洋一，服部克巳（千葉大），藤繩幸雄（ODRC），吉野千恵（千葉大）
GNSS データを用いた新しいひずみ解析手法
- P1-3 ○佐伯奎吾 (B4)，北出明嗣，金子柊，吉野千恵，服部克巳（千葉大）
ひまわり AHI データを用いた溶岩噴出前の地表熱異常の検知
- P1-4 ○近藤義将 (B4)，森樹大，奥田知明（慶應大），岩田歩（気象研），松木篤（金沢大）
横浜と能登における個別粒子の帶電状態と化学組成の解明
- P1-5 ○飯山瑛汰(M1)，古川怜（電通大）
大気電圧の電力利用へ向けた標高別電流特性の評価
- P1-6 ○北川和樹(M1)，中田裕之（千葉大），塙千尋（NICT），細川敬祐（電通大），大矢浩代（千葉大）
GAIA モデルを用いたレイトレーシングによる HF 帯電波の電離圏吸収推定
- P1-7 ○白崎泰良(B4)，安藤芳晃（電通大）
VLF 伝搬の数値計算による FIRI への摂動付加を用いた C 領域電子密度の推定
- P1-8 ○大野貴翔(B4)，菊池博史，芳原容英（電通大），吉川栄一（阪大），中村佳敬（神戸高専），
森本健志，高柳裕次（近畿大），牛尾知雄（阪大）
比偏波間位相差と雷放電の 3 次元観測による時空間分布について
- P1-9 ○小野田朔也(B4)，中村佳敬（神戸高専），和田有希，牛尾知雄，吉川栄一（阪大），菊池
博史（電通大）
神戸 MP-PAWR で観測した 2024 年 8 月 29 日の積乱雲の構造解析
- P1-10 ○佐藤元信（志段味中）
雷光の非黒体放射と双極子整列電場による発光機構

ポスターセッション P2

14:50-15:50

座長 山下 幸三（小松大）

- P2-1 ○村田啓太(M1)，芳原容英，菊池博史，大内皓斗（電通大），Jeff Lapierre（Earth Networks）
日本国内の豪雨事例における大気パラメータと雷活動の関連性の調査
- P2-2 ○奥村凜太郎(M2)，和田有希（阪大），花土弘，河谷能幸（NICT），牛尾知雄（阪大）
ホーンアンテナのロール角走査による MP-PAWR の偏波間送信初期位相差の検証
- P2-3 ○垣田寛文 (B4)，菊池博史（電通大），牛尾知雄（阪大）
降水タイプを考慮した Z-R 関係のリアルタイム導出手法の検討
- P2-4 ○野平瑛司(B4)，菊池博史（電通大），牛尾知雄（阪大）

気象用二重偏波フェーズドアレイレーダとパラボラ型二重偏波レーダとの比較による相対的精度評価

- P2-5 ○大内皓斗(M2), 芳原容英, 菊池博史 (電通大), Debrupa Mondal(日大), Jeff Lapierre (Earth Networks)
日本国内の線状降水帯における豪雨と雷活動の関係の統計的解析
- P2-6 ○中島照記 (B4), 菊池博史 (電通大), 牛尾知雄 (阪大)
気象用二重偏波フェーズドアレイレーダを用いた Zdr カラム及び Kdp カラムの空間的比較による鉛直風発生地点の推定
- P2-7 ○松原冬也 (B4), 菊池博史(電通大), 吉川栄一, 牛尾知雄 (阪大)
気象用フェーズドアレイレーダにおける適応信号処理の適用とその精度評価
- P2-8 ○田村駿(M2), 和田有希 (阪大) , 佐藤晋介, 花土弘 (NICT) , 林修吾 (気象研) , 牛尾知雄 (阪大)
MP-PAWR バイオメトリック観測における風速算出法の検討
- P2-9 ○長谷川宏汰(M2), 和田有希, 吉川栄一, 井口俊夫, 牛尾知雄(阪大)
GPM DPR における Ku-Ka 二周波観測量を用いた DSD 推定の検討
- P2-10 ○保津明範(M2), 和田有希, 吉川栄一, 牛尾知雄 (阪大)
高高度航空機を活用した X バンドレーダーによる海面上における降雨推定

休 憩

15 : 50-16 : 20

特別講演：「ゲーム AI 研究の進歩と未来」

講師：伊藤 毅志 (電気通信大学 大学院情報理工学研究科)

司会：芳原 容英 (電気通信大学)

会場：電気通信大学創立 80 周年記念会館 3 階会議室 16 : 20 - 17 : 20

総 会： 17 : 30 - 18 : 30

懇親会： 18 : 45 - 20 : 45

第2日 1月9日(金)

セッション S3 雷 II

09:30 -10:50

会場：創立80周年記念会館 3階会議室
座長：和田有希（阪大）

- S3-1 ○Wu Ting, Wang Daohong (Gifu Univ.)
Energetic Compact Strokes: A Review and New Data
- S3-2 ○高柳裕次, 森本健志(近畿大), 秋田学(電通大), Muhammad Haziq Mohammad Sabri(近畿大), Mohd Riduan Ahmad (UTeM), Mohd Zafri Baharuddin (UNITEN)
VHF 帯広帯域干渉計を用いた雷放電初期過程の観測結果
- S3-3 ○秋田学(電通大), 稲葉敬之(稲葉レーダ技術ラボ, 電通大), 高柳裕次(近畿大), 河崎善一郎, 森本健志(近畿大), Mohd Riduan Ahmad (UTeM), Mohd Zafri Baharuddin (UNITEN)
広帯域干渉法に基づく雷放電路のリアルタイム三次元可視化手法の比較検討
- S3-4 ○Muhammad Haziq Mohammad Sabri, Takeshi Morimoto, Yuji Takayanagi (KINDAI UNIV.), Muhammad Nabil Ehsan Ali (UNITEN), Manabu Akita (UEC), Mohd Riduan Ahmad (UTeM), Mohd Zafri Baharuddin (UNITEN)
Social Implementation of a Real-Time Lightning Observation Network for Disaster Prevention in Malaysia

休憩

10:50-11:05

セッション S4 雷 III

11:05-12:05

座長：森本健志(近畿大)

- S4-1 ○米田稔(一般)
スカイツリーの落雷と-10°Cの関係
- S4-2 ○永田翔一(株式会社サンコーレン), 酒井英男(富山大), 畿雅敬, 米澤要, 岡林親志(株式会社サンコーレン)
過去の落雷を探る-古文書および物質の磁化からの研究
- S4-3 ○酒井英男, 石川映樹(富山大), 永田翔一, 岡林親志(株式会社サンコーレン)
栃木県さくら市の水田近傍に落ちた落雷の大地の磁化からの研究

昼食

12:05-13:10

ショートプレゼンテーション P3&P4 (*)

13:10-14:30

(*)発表時間は別紙をご参照下さい

ポスターセッション P3

14:50-15:50

会場：UEC Ambient Intelligence Agora（電気通信大学附属図書館内）
座長：櫻井 南海子（防災科研）

- P3-1 ○山田倫輝(B4), 王道洪, ウティン（岐阜大）
XRAIN の偏波パラメータを用いた機械学習による冬季雷の予測
- P3-2 ○菊池樹(B4), 大内皓斗, 村田啓太, 芳原容英, 菊池博史（電通大）, 岡野大祐（東海大）, 森本豊, 牛尾 知雄（阪大）, Alexander Shvets (Usikov Inst. for Radiophysics and Electronics, Ukraine)
稠密 LF 帯観測網を用いた九州地方における雷活動と豪雨の関連性の調査
- P3-3 ○博松佑香(M1), 篠田太郎（名古屋大）, ウティン, 王道洪（岐阜大）
北陸地方の冬季雷における降水粒子判別と放電経路の関係
- P3-4 ○相場萌香(M1), 西垣佑亮, ウティン, 王道洪（岐阜大）, 篠田太郎（名古屋大）
冬季正極性落雷の放電路における降水粒子の鉛直分布特性の解析
- P3-5 ○西垣佑亮(M2), ウティン, 王道洪（岐阜大）
落雷の予測を目的とする雷雲の偏波レーダーエコーの解析
- P3-6 ○加藤舜(M2), 王道洪, ウティン（岐阜大）
上向き雷の予測を目的とする雷雲の偏波レーダーエコー解析
- P3-7 ○足立雄斗(M2), 王道洪, ウティン（岐阜大）
北陸冬季雲内放電の 3D 放電路と降水粒子の関連性
- P3-8 ○本郷美桜(M2), 芳原容英, 津田卓雄, 菊池博史（電通大）, 海東恵美（気象庁）
全天カメラ画像の機械学習分類に基づく天気と大気電界変動の統計調査

ポスターセッション P4

14:50-15:50

座長：ウティン（岐阜大）

- P4-1 ○平野壯(B4), 王道洪, ウティン（岐阜大）
中部・北陸地方における強電流雷放電の調査研究
- P4-2 ○Jin Ruixin(M1), Wu Ting (岐阜大), Wang Daohong (岐阜大)
Characteristic of Upward Lightning on Wind Turbines in Winter
- P4-3 ○田尻貴浩(D2)（近畿大・中部電力）, 高屋賢隆, 高柳裕次, 森本健志（近畿大）
送電線へ雷撃した連続電流を伴う負極性落雷の放電進展
- P4-4 ○Muhammad Uwais Farihin Fauzi(D1), Takeshi Morimoto, Muhammad Haziq Mohammad Sabri, Yuji Takayanagi (Kindai Univ.), Mohd Zafri Baharuddin (UNITEN), Mohd Riduan Ahmad (UTeM)
Observation of Stepped Leaders from Cloud-to-Ground Lightning Flash Using High-Speed Camera and Electromagnetic Field Measurement Systems

- P4-5 ○水野雄亮(M2), 和田有希 (阪大), 林修吾 (気象研), 吉川栄一, 牛尾知雄 (阪大)
MP-PAWR を用いた雷放電マイクロ波放射観測の可能性の検討
- P4-6 ○小野拓海(B4), 太田悠一郎, 服部克巳, 三浦健伸, 吉野千恵 (千葉大), 今住則之 (日本技術師会千葉県支部)
VLF/LF 帯干渉計で観測された雷放電過程の機械学習による識別と放電位置推定
- P4-7 ○名久井龍太郎(M2), 秋田学(電通大), 高柳裕次, 森本健志(近畿大), Mohd Riduan Ahmad (UTeM), Farah Hani Bt Nordin (UNITEN)
広帯域干渉計の観測リソースを活用した圧縮センシングに基づく雷放電アーリーステージにおける正リーダの可視化
- P4-8 ○森翔太(M2), 杉山大悟, 高屋賢隆, 高柳裕次, 森本健志 (近畿大), 田尻貴浩 (近畿大・中部電力)
UHF 帯指向性アンテナを用いた広域雷観測装置の開発と実観測事例
- P4-9 ○高屋賢隆(M2), 高柳裕次, 森本健志 (近畿大), 田尻貴浩 (近畿大・中部電力)
VHF 帯観測による雷放電進展を考慮した中和電荷量推定
- P4-10 ○Mohd Anif Akhmal Abu Bakar (D2), Yuji Takayanagi, Muhammad Haziq Mohammad Sabri (Kindai Univ.), Ting Wu (Gifu Univ.), Mohd Zafri Baharuddin (UNITEN), Mohd Riduan Ahmad (UTeM), Takeshi Morimoto (Kindai Univ.)
An Evaluation of Temporal Feature Sequencing Strategies for Deep Learning-Based Lightning Nowcasting

■ 講演者へのお願いとご案内

- (1) 一般セッション1件の発表時間は20分としました。発表15分, 質疑応答5分で御発表下さい。
- (2) 当日は会場に発表用PCを用意します。Windows/Power Point で作成したファイルをUSBでご持参下さい (休憩時間に各自で準備してください)。PC持込も可です (心配な方は各自のPCをご持参下さい)。
- (3) ポスター会場へのポスター掲示は両日ともに13時～発表終了時刻にお願いします。ポスターサイズは最大でA0縦の大きさで作成お願いします。ポスターセッション終了後は速やかに撤去をお願いいたします。
- (4) ポスター発表講演者は, ショートプレゼンテーションにおいて研究の概要を口頭発表して下さい。ショートプレゼンテーションの1件の発表時間は3分としました。一般セッションと同様に当日は会場に発表用PCを用意します。Windows/Power Point で作成したファイルをUSBでご持参下さい。発表件数が多いため, 必ず休憩時間に各自で発表用PCの所定のフォルダにコピーしてください。PC持込も可です (心配な方は各自のPCをご持参下さい)。
- (5) ショートプレゼンテーションのスライド枚数の目安は2～3枚程度で「タイトル・氏名・所属」「研究背景・目的」「主な成果・結論・ポスターでアピールしたいポイント」等を簡潔にまとめてください。
- (6) 大気電気学会誌原稿はホームページへアップロードして下さい。
講演者は「大気電気学会誌」の原稿（1頁ないし2頁）のワードファイルとPDFファイルをホームページへアップロードして下さい。
1. 締切り：令和8年2月6日(金) 17:00
2. フォーマットは学会ホームページからダウンロードしてください

■ 会場：電気通信大学 80 周年記念会館 3階会議室

◎京王線 調布駅下車 中央口より徒歩 5 分

徒歩の道順は下記のサイトで確認してください。

<https://www.uec.ac.jp/about/profile/access/>

■ 参加費徴収のお知らせ

以下の通り研究発表会当日、受付にて参加費を徴収します。

正会員：5,000円

学生会員：不要

非会員：一般：7,000円 学生：3,000円

賛助会員：5,000円

シニア：3,000円 ※リタイアされた会員。自己申告です。

名誉会員：不要

【お願い】 当日の受付をスムーズに行うため、参加費のお支払時にはお釣りが出ないように、
予めご準備いただきますようご協力をお願いいたします。

賛助会員名簿 (五十音順)

現在までに入会されている賛助会員は下記の通りです。本会への賛助に対し、深く感謝申し上げます。本会では賛助のご好意にお応えするため、「大気電気学会誌」に広告を無料掲載することとしております。広報担当運営委員、山下 幸三（小松大学）

Email: journal@saej.jp, Tel: 0761-48-3137 までお申し込み下さい。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センター
株式会社応用気象エンジニアリング
音羽電機工業株式会社
バスタ技研株式会社
株式会社フランクリン・ジャパン
明星電気株式会社

(別紙) 日本大気電気学会第104回研究発表会ショートプレゼンテーション

会場：創立80周年記念会館 3階会議室

発表時間：発表3分+交代時間1分

第1日 1月8日(木)

発表番号	時間	講演者名 (所属)	講演題目
P1-1	13:10-13:14	笹沼千夏(千葉大)	電離圏電子数変動を用いた短期地震予測に関する研究-地磁気嵐の影響の除去について-
P1-2	13:14-13:18	名嶋純平(千葉大)	GNSSデータを用いた新しいひずみ解析手法
P1-3	13:18-13:22	佐伯奎吾(慶應大)	ひまわりAHIデータを用いた溶岩噴出前の地表熱異常の検知
P1-4	13:22-13:26	近藤義将(慶應大)	横浜と能登における個別粒子の帶電状態と化学組成の解明
P1-5	13:26-13:30	飯山瑛汰(電通大)	大気電圧の電力利用へ向けた標高別電流特性の評価
P1-6	13:30-13:34	北川和樹(千葉大)	GAIAモデルを用いたレイトレーシングによるHF帶電波の電離圏吸収推定
P1-7	13:34-13:38	白崎泰良(電通大)	VLF伝搬の数値計算によるFIRIへの摂動付加を用いたC領域電子密度の推定
P1-8	13:38-13:42	大野貴翔(電通大)	比偏波間位相差と雷放電の3次元観測による時空間分布について
P1-9	13:42-13:46	小野田朔也(神戸高専)	神戸MP-PAWRで観測した2024年8月29日の積乱雲の構造解析
P2-1	13:46-13:50	村田啓太(電通大)	日本国内の豪雨事例における大気パラメータと雷活動の関連性の調査
P2-2	13:50-13:54	奥村凜太郎(阪大)	ホーンアンテナのロール角走査によるMP-PAWRの偏波間送信初期位相差の検証
P2-3	13:54-13:58	垣田寛文(電通大)	降水タイプを考慮したZ-R関係のリアルタイム導出手法の検討
P2-4	13:58-14:02	野平瑛司(電通大)	気象用二重偏波フェーズドアレイレーダとパラボラ型二重偏波レーダとの比較による相対的精度評価
P2-5	14:02-14:06	大内皓斗(電通大)	日本国内の線状降水帯における豪雨と雷活動の関係の統計的解析
P2-6	14:06-14:10	中島照記(電通大)	気象用二重偏波フェーズドアレイレーダを用いたZdrカラム及びKdpカラムの空間的比較による鉛直風発生地点の推定
P2-7	14:10-14:14	松原冬也(電通大)	気象用フェーズドアレイレーダにおける適応信号処理の適用とその精度評価
P2-8	14:14-14:18	田村駿(阪大)	MP-PAWRバイオラティック観測における風速算出法の検討
P2-9	14:18-14:22	長谷川宏汰(阪大)	GPM DPRにおけるKu-Ka二周波観測量を用いたDSD推定の検討
P2-10	14:22-14:26	保津明範(阪大)	高高度航空機を活用したXバンドレーダーによる海面上における降雨推定
P1-10	14:26-14:30	佐藤元信(志段味中)	雷光の非黒体放射と双極子整列電場による発光機構

第2日 1月9日(金)

発表番号	時間	講演者名	講演題目
P3-1	13:10-13:14	山田倫輝 (岐阜大)	XRAINの偏波パラメータを用いた機械学習による冬季雷の予測
P3-2	13:14-13:18	菊池樹 (電通大)	稠密LF帯観測網を用いた九州地方における雷活動と豪雨の関連性の調査
P3-3	13:18-13:22	博松佑香 (岐阜大)	北陸地方の冬季雷における降水粒子判別と放電経路の関係
P3-4	13:22-13:26	相場萌香 (岐阜大)	冬季正極性落雷の放電路における降水粒子の鉛直分布特性の解析
P3-5	13:26-13:30	西垣佑亮 (岐阜大)	落雷の予測を目的とする雷雲の偏波レーダーエコーの解析
P3-6	13:30-13:34	加藤舜 (岐阜大)	上向き雷の予測を目的とする雷雲の偏波レーダーエコー解析
P3-7	13:34-13:38	足立雄斗 (岐阜大)	北陸冬季雲内放電の3D放電路と降水粒子の関連性
P3-8	13:38-13:42	本郷美桜 (電通大)	全天カメラ画像の機械学習分類に基づく天気と大気電界変動の統計調査
P4-1	13:42-13:46	平野壯 (岐阜大)	中部・北陸地方における強電流雷放電の調査研究
P4-2	13:46-13:50	Jin Ruixin(Gifu Univ.)	Characteristic of Upward Lightning on Wind Turbines in Winter
P4-3	13:50-13:54	田尻貴浩 (近畿大)	送電線へ雷撃した連続電流を伴う負極性落雷の放電進展
P4-4	13:54-13:58	Muhammad Uwais Farihin Fauzi (Kindai Univ.)	Observation of Stepped Leaders from Cloud-to-Ground Lightning Flash Using High-Speed Camera and Electromagnetic Field Measurement Systems
P4-5	13:58-14:02	水野雄亮 (阪大)	MP-PAWRを用いた雷放電マイクロ波放射観測の可能性の検討
P4-6	14:02-14:06	小野拓海(千葉大)	VLF/LF帯干渉計で観測された雷放電過程の機械学習による識別と放電位置推定
P4-7	14:06-14:10	名久井龍太郎 (電通大)	広帯域干渉計の観測リソースを活用した圧縮センシングに基づく雷放電アーリーステージにおける正リーダの可視化
P4-8	14:10-14:14	森翔太 (近畿大)	UHF帯指向性アンテナを用いた広域雷観測装置の開発と実観測事例
P4-9	14:14-14:18	高屋賢隆 (近畿大)	VHF帯観測による雷放電進展を考慮した中和電荷量推定
P4-10	14:18-14:22	Mohd Anif Akhmal Abu Bakar (Kindai Univ.)	An Evaluation of Temporal Feature Sequencing Strategies for Deep Learning-Based Lightning Nowcasting